

山 ゆ り

1-2 月号 No359 2015 年 1 月 1 日

初号発行:1972 年 12 月 25 日

山ゆりの会(尾瀬の自然を守る山ゆりの会)

年会費 1000 円 (郵便口座 00230-2-42601)

〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西 2-25-16 草野正昭

Tel/Fax:045-364-6515 メール:VZM03024@nifty.com

URL : http://homepage3.nifty.com/yamayuli/



赤城山バスハイク

参加者：和田 豊留 大内 長谷川 加藤 加藤 稲本 草野 河野 島 田村 大野 香取 浜田 山口 遠藤 菅野 西村 曾根 (19名)

●秋晴れの好天气に恵まれ絶好の登山日和でした。赤城神社の登山口から既に登山者の行列にはびっくりさせられました。富士山並みの混雑で、頂上から下ってき

た人もなかなか下ることができないほどでした。行列は黒檜山の頂上まで続き、急登ですがゆっくりしたペースで登ることができました。尾根筋に出ると時々、葉っぱが落ちた木々の間から眼下に大沼と覚満淵の沼を見ることができました。

黒檜山の頂上も人で一杯です。展望台からは 360 度のパノラマを楽しむことができ、最高の見晴しでした。黒檜山から駒ヶ岳へは、大だるみまで一気に 200 メートルを下り、60 メートル登り返して駒ヶ岳山頂です。頂上は狭くて大変混雑していました。

下りは、眼下に大沼を見ながら、整備された道を一気にビジターセンター駐車場まで下りました。19 名全員が元気に歩き、遅れる人もなく 14 時 50 分に到着しました。おかげで、富士見の温泉も浴びることができ最高でした。みなさんお疲れ様でした。

<コースタイム>天理ビル前 6:30-赤城神社 10:20-黒檜山 12:15 着 13 時発-駒ヶ岳 13:50-ビジターセンター-14:50 着 15:10 発-富士見温泉 16:30 発-横浜駅西口 20:30 着・解散

(河野正典)



●山ゆりの会の皆さんお世話になりました。香取さんに誘われて参加させていただきました。赤城山登山、最初はわくわくどきどきしたけれど、岩だらけの急な登りが続きもうやばいと思いつつも、私より年配の方の頑張っている姿を見て、負けられないという気持ちで頑張りました。たくさんの方の励ましの声をかけてもらいありがとうございました。

頂上の大パノラマ、山々の雄大な景色、都会とは空気感の違う自然感に浸り、共に生きる喜びや、山を自然を愛する気持ちに触れた思いです。機会があったらまた参加したいです。（遠藤ふみ子）

●山の会の皆さんに遅れずに頑張って登りました。また次の機会も頑張りたいと思います。（菅野清子）

●秋晴れの気持ち良い青空のもと、ひたすら上り、そして注意深く下り、足元だけ見つめていたように思いますが、それでも秋の陽を浴びてきらきら光る熊笹の葉や、風に揺れるススキの穂が視界に入り、印象に残りました。

ずいぶんと前から下りでは必ず膝が痛くなり、9月の石老山の帰りには駅の階段下るのがつらくて、今回歩けるか不安ありましたが、夏以降筋力増強？に努め、直前には秘策も議じて、臨んだ赤城山でした。天気も味方して、無事登頂！下りでも膝は「笑う程度」で痛くなることはありませんでした。帰りの塩っぱい温泉にも入れて大満足でした。バスの中でのハプニング（バス隣の席の友人の急変）には驚きましたが、その後何事もなくほっとしています。大変お騒がせし、一緒にしたみなさんにご心配おかけしたことを友人ともども心よりお詫びし、今後も

お付き合いさせていただくことよろしくお願いたします。

日帰り温泉に入る際に65歳以上は300円と格安になり（大人510円）、参加者のうち私はぎりぎり少数派であることを知り、年を重ねても私よりもずっと元気に、力強く歩いている姿に励まされ、人間いくつになっても筋トレの効果あること、見せていただきました。有難うございました。（大内とも子）

●赤城山・黒檜山 1827m登山

快晴、絶好の登山日和、みんなに迷惑をかけながらも温かい応援をいただいて無事踏破でき、感謝感謝です。おまけに帰りに温泉で疲れを癒すことができ非常に楽しい一日でした。

大沼湖畔の赤城神社から10時半ごろ登山開始、黒檜山登山口からいきなり急登になり遅れないように必死で登る。30分ほどして最初の休憩、ほっとするまもなく出発、急登はさらに続く、もう限界かなと思ったら頂上に着いた。昼食、記念撮影後、展望台へ、少しかすんでいたが360度素晴らしい眺めだった。

次いで駒ヶ岳 1689mに向けて下山開始、途中大きな岩があり、木製の階段が整備されていた。階段の歩幅が大きく一歩一歩が二歩二歩となり、踏み外さないように慎重に下る。だんだんみんなに遅れる。50分ぐらいで駒ヶ岳に到着。小休止してすぐ下山開始。急勾配の木製、鉄製の階段が続く。鉄製の階段は急だが手すりがあるため歩幅も小さく安心して下れる。さらに下ると眼下に大沼が見えほっとする。まもなく車道にでて、バスが待つビジターセンターに全員無事到着する。

今回期待していた紅葉が少なかったの

が少し残念でしたが、百名山の一つを無事踏破できたことは素晴らしい経験になりました。(西村文夫)

●日帰りでも、バス利用の山行はワクワク。入浴・弁当・かつてはイケメンだったであろう添乗員付きで7000円ポッキリとは…超お買い得のツアーでした。

登山道の渋滞はありましたが、早めの紅葉と青空の1日！黒檜山までは、急坂と岩場続きで景色を楽しむ余裕があまりなかったけれど、眼下には大沼小沼・遠くには名だたる山々…心の中もスッキリ晴れた1日でした。

準備から当日まで関わって下さった方々に改めて感謝です。アッ、添乗員さんに心付け忘れちゃったあ！

(加藤英子)

●「1年ぶりの1000m以上の高山？登山。やや不安があったが普段それなりに体を動かしているのので何とかなるだろうと参加した。

快晴。赤城山への上りは少々きつかったが心地よい汗がかけた。頂上からはさえぎるものがなく、浅間山、燧岳の眺望がすばらしかった。紅葉を背景とした大沼を眼下に見ながらの山歩きも気持ちよかった。何より良かったのは、御年80歳の西村さんの頑張りである。ちょうどペースが私とあまり変わらなかったの同行させてもらった。一定のリズムで休みなく歩き、下り階段も「足が短いのでしんどい」といいながら確実に歩を進めていく。自分も80歳ぐらいまで山にチャレンジ出来たらと思った。

さて、赤城山というと国定忠治の「赤城の山も今宵限り」が思い出される。し

かし、冬季オリンピックのスキー回転で日本人初のメダリストになった猪谷千春の故郷でもあった。千春は日本スキー界の草分け的存在の父猪谷六合雄(くにお)から英才教育を受けオリンピックで輝くことになる。その六合雄は当地で旅館を営んでいた。文豪志賀直哉はそこに投宿している。志賀がこの時の体験を小説にしたのが「焚火」である。大沼に突き出た小鳥島に「焚火」の文学碑がある。また訪れてみたい地である。

(加藤良昭)

●久しぶりのバスでの遠出で赤城山へ行けました。島さん草野さんには沢山のアポを採って頂いたお陰で安く出来、お風呂に夜食までまかなえて、お釣りまで出てとなんてことでしょう。バスは満杯の19人参加で男性4人15人女性の久々の参加人数です。

真っ青な空に赤城山の登山道には富士山並みの大渋滞でした。休みを採るにも細い道なので大変です。今年は夏の暑さのせいなのか紅葉がだめで色付きが望めませんでした。参加者には3年連続に来ているひともいましたがここまで良い天気は初めてなので喜んでいました。

この山はとにかく始まりから頂上まで直登で下りはまた厳しいものがありました。我々のグループでは有りませんが目立ったのが道中の故障者です。暑さと急登で筋肉痛でいた人がいました。糖分と水分の補給の大事さを私も体感を改めて味わいました。皆様ありがとうございました。(和田悦子)

●秋晴れの青空の下、絶好の登山日和と思っていたのは山ゆりのメンバーばかりでは無かったようです。赤城山の人口密度はものすごいことになっていました。

山ゆりの山行は比較的人を避け、マニアックなコースが多かったので、山道が人で渋滞して前へ進めないなんて経験は初めてでした。それでも山頂の景色は360度の展望で、この上天気、何十倍ものご馳走を頂いたような気がします。

最後のご馳走は、もちろん”温泉”これがあると無いとでは大違いです。汗を流しさっぱりとした後の冷えたビール一杯の美味しかったこと。赤城山ごちそうさまでした。(香取 恵)

■ 2015年度総会のご案内

2015年度の総会は、今までと趣向を変えて、横浜中華街で本格中華料理を囲んで行います。ぜひ参加ください。

- ・日時：1月24日(土曜日) 午後1時集合
- ・会場：横浜中華街「東園」 関帝廟通り山下町小公園の隣り
- ・新年会費：3000円(会補助あり)、年会費は1000円

■ 1月山行 1月18日(日曜日) 三浦富士 182m・武山 200m ★

2015年度最初の山歩きはおなじみの三浦富士です。山内先生紹介の平和の母子像に久しぶりに寄りたと思います。

- ・集合：朝9時 京浜急行 京急長沢駅
- ・持ち物；昼食、雨具など

■ 2月山行 2月15日(日曜日) 多摩丘陵・柿生の里歩き ㊦

真冬の日を、多摩丘陵の一角・柿生の里を歩きます。

- ・集合：朝9時30分 小田急多摩線 はるひの駅
- ・持ち物：昼食、雨具など

■ 例会の予定

- ・1月20日(火)：1月例会
- ・2月17日(火)：2月例会

あとがき ・安倍総理改憲に意欲の選挙後の新聞見出し、解散時にも選挙中にも一言も触れなかった憲法改正である。消費増税1年半先送りのアベノミクス一本に絞った戦術で国民をごまかし通した。国民は選挙ですべてを信任したわけではない。安倍政権に対決した共産党が8議席から21議席に伸ばし、安倍政権の改憲姿勢を強力に支援する次世代の党が19議席から2議席に減らしたことがその象徴である。・その自民党は、比例での

得票率33%で獲得議席は180分の68名で議席獲得率38%。選挙区となると、全295席の75%に当たる223議席も獲得。選挙中からもこの選挙は違憲の声、選挙後早速全国で違憲訴訟が提起、一票の格差を正せというものだが、党利党略の小選挙区では何減何増しようとも、不平等は解消されない。「小選挙区制はダメよダメダメ」の世論よ巻き起これ。・要介護老人にならないために、何が有効だろうか、筋トレとウォーキング、それに何か脳トレ、目標を立てて2015年を迎えたいもの。今年の山ゆりもよろしく。

・レギンスの女登るも山眠る 【K】